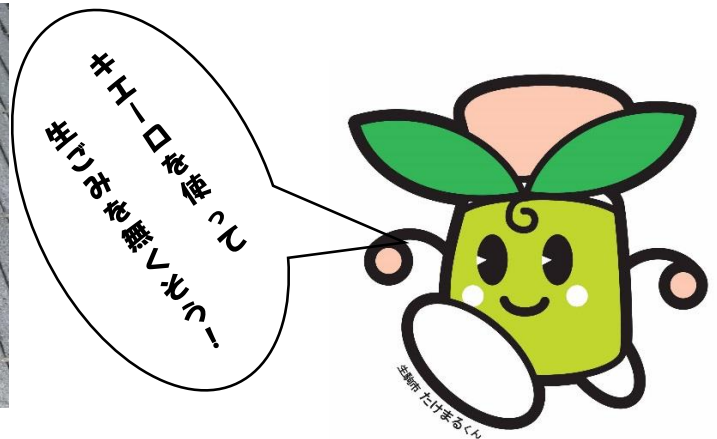


生ごみ処理器

プランターdeキエーロ 使い方



横幅72cm × 奥行44cm × 高さ33cm 容量40ℓ



※神奈川県葉山町のキエーロ葉山さんが考案した生ごみ処理器「キエーロ」をプランターで作製したものです。

特 徴

●どこにでも設置できる

※場所を取らないキエーロ入門タイプで、庭でもベランダでも場所を選ばず設置可能です。

●維持費がかからない。

※土の中にもともといるバクテリアが生ごみを分解するので、特別な菌・電気代等の維持費がかかりません。

●土が増えない。

※バクテリアが生ごみを分解してしまうので、中の土が増えることはありません。

●臭いが少なく虫が湧きにくい。

※生ごみ処理器の中では、使い方が簡単で臭いが少なく、虫が湧きにくいタイプです。

※プランターdeキエーロは、小型で処理量も少ないので、消えやすいものを選んで入れるようにしてください。

●肥料として利用できる。

※生ごみを分解した土は、肥料として使うことも可能です。

- ・肥料として使う場合は、塩分の多い生ごみは控えるようにしてください。
- ・肥料とするには、1ヶ月以上おいて完熟させてください。
- ・肥料として使った分は土の補充が必要になります。

準備

「土」「スコップ（植栽ごて）」「水」を用意する。



40Lの土を入れた状態

- ※黒土(推奨)等を入れるか、畑や花壇の土を入れてください。
- ※このプランターの容量は40Lですので、ごみの量にあわせて調整してください。
- ※設置場所は、なるべく日当たり風通しの良い場所を選んでください。

使い方

①穴を掘る



- ※20cmぐらいの深めに穴を掘る。
- ※穴が浅いと、生ごみの臭いがしたり、虫が寄ってくる原因になります。
- ※スコップ等を利用すると便利です。

②生ごみを入れる。



- ※生ごみは、細かくしておく分解がより早くなります。

③生ごみと土をよく混ぜる。



※土と生ごみが直接触れ合うことで分解が進みます。
※土と見分けがつかなくなるまでよく混ぜてください。
※大きいものは、スコップ等で碎いて細かくしてください。
※分解が進むための大切な作業です。

④水分が少ない場合は、水を加える



※すべての食品は事前に水切りする必要はありません。
※水分が少ない場合は、別に水を加えてください。
※水を加える目安は、泥だんごが作れるぐらいです。

⑤表面に乾いた土をかぶせる。



※生ごみが見えないようにしっかりかぶせてください。
※表面に乾いた土をかぶせることで、臭いを防止し、
虫の発生を防ぎます。

⑥埋める場所を変えながら繰り返します。



※分解に夏場は5日、冬場は2週間ほどかかります。
※前回埋めた場所も空気を入れるように混ぜると分解
が早くなります。

★生ごみで入れているもの、悪いものは、P4の
「キエーロ」好き嫌いメニューを参考にしてください。
★臭いや虫が気になる場合は、動物性の物を控える
とより少なくなります。

問合せ先
生駒市環境保全課 事業係
TEL 74-1111(内線2360~2362)

「キエーロ」好き嫌いメニュー

※人間の胃袋で消化できない物はキエーロも苦手、嫌いです。無理して投入せず、可燃ごみの収集も利用してください。

好きなもの

【大好き】



傷んだ野菜・くだもの、火や湯を通した野菜・くだもの、魚の内臓・煮汁、生肉・脂身、ラーメン・みそ汁・カレーなど調理品の残り物、傷んだ弁当や残飯・デザートなど
期限切れのジャム・バター・塩辛・菓子、お茶がら・コーヒーかす、食用油(廃食油)、ドレッシング、焼き肉のたれ、飲み残しのお酒、ジュース、残った揚げ物、もみがら、米ぬか

【好き】



野菜くず、野菜の皮、くだもの(果肉)、くだもの皮、火を通した魚や肉、パン、ご飯、麺類
※「大好き」は特に分解が早いです。「好き」は細かく刻んで混ぜればOKです。

嫌いなもの

【大嫌い】



貝殻、鶏肉などの骨、タケノコやトウモロコシの皮、栗の皮、かぼちゃ・梅干し・アボカド・ゴーヤ・モモなどの大きな種

【嫌い】



レモンやグレープフルーツなどかんきつ類の皮、とうもろこしの芯、玉ねぎの皮、枝豆のサヤ、スイカや冬瓜の皮、キャベツなど野菜の芯、ごぼう・人参などの根菜類、ブロッコリーの太い茎、昆布、魚の大きな頭や骨、たまごの殻、カニやエビの殻

「埼玉県飯能市のホームページ」を参考にしています。